

中央図書館

〒436-0079 掛川1148-1

TEL 0537-24-5921

FAX 0537-23-6183

開館時間→ 火、金、土、日曜 9:00~17:00

水、木曜 9:00~19:00

今月の休館日→ 毎週月曜、21日(火)、31日(金)

よみきかせへどうぞ

* えほんのへや *

絵本の読み聞かせ(0歳から)、手あそび

*毎月第1、2金曜日

3月 3日、10日 10:30から

●会場 中央図書館 おはなしのへや

※今月は《ホンの話》はお休みです。4月をおたのしみに。

* おはなしじゅうたん *

絵本の読み聞かせ(幼児から)、手作り遊びなど

*毎月第2、4土曜日

3月 11日、25日 15:00から

●会場 中央図書館 おはなしのへや



* 名作映画鑑賞会 *

フランス映画

平成18年3月19日(日)

会場:中央図書館 会議室B

第1部 「歴史は女で作られる」

10:00~12:00

第2部 「たそがれの女心」

13:00~14:50

入場無料・申込無用です。お気軽にどうぞ!!

大人の恋物語

訃報

昨年度、中央館に蔵書を寄贈して下さった考古学者の田辺昭三先生が、2月20日に肝不全のため御逝去されました。田辺先生は菊川市の御出身で、京都市埋蔵文化財研究所の調査部長として平安京跡の発掘の御指導などに御尽力されました。

田辺先生が寄贈して下さった蔵書は、考古学関係の専門書などが中心で、「田辺文庫」として地下の書庫に保管されています。リストもありますので、御覧になりたい方は職員までどうぞ。



レファレンス係から

「『ビルマの豎琴』と掛川」

『ビルマの豎琴』という物語をご存じですか?何度か映画化され、オレンジ色の衣をまとい、オウムを肩にした水島上等兵の姿は印象的です。戦後の疲弊した日本人の心をうるおし、勇気づけた児童文学です。

そこで今回のレファレンスは、その作者である「竹山道雄氏は掛川に関係あるか?」という問い合わせです。

まず『日本近現代人名辞典』(R281.03)によると「明治36年大阪に生まれる。父は銀行家の純平、母は・・・」という経歴や評論家・独文学者としての足跡が述べられていますが、掛川との関連は分らない。

次に、静岡県に関係あると仮定して、これだけの有名な人なら『静岡県歴史人物事典』(281.54)に載っているはずだ・・・アレ?無い。残念と閉じかけたその時、目に飛び込んできたのが「竹山謙三」の項、その最後に「『ビルマの豎琴』の著者、竹山道雄氏は孫に当たる」とあるではないか?一条の光を見た思いで、竹山氏の出身地の浜松の史料を読むと「岡田良一郎に請われて遠州紡績を立ち上げる・・・」とある。【岡田良一郎】といえば我が図書館の目と鼻の先にある「報徳社」を作った人。『翼北の人 岡田良一郎』(157)や年譜により今回の主人公の父上の純平氏はミスター報徳の三男で竹山家に養子に行かれたことが判明した。つまり岡田良一郎氏の孫でもあるのだった。

二宮尊徳を祖とし、掛川で脈々と受け継がれている報徳の精神は、ビルマの密林の中に消えていった水島上等兵に姿を変え、私たちの記憶に焼き付いていたようである。最初に紹介した人名辞典の中に「純粋なヒューマニズムの立場から・・・」と道雄氏のことを評してあり、ますます誇らしく思うレファレンス係でした。

(担当:F)